



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体を持ち、  
未来を担う 白根こまっ子 ～

令和7年10月30日 No12 文責 保坂 泉(校長)

## “秋” どんな秋を過ごしていますか？

先週は天気がスッキリせず、寒いくらいの日が続きました。そんなことがあったか、めっきり秋らしい天候になってきました。急に寒さが訪れたため、子供たちも体調を崩してしまうことが予想されましたが、ご家庭での体調管理を十分にいただいているおかげで、子供たちは元気に学校生活を送ることができています。心より感謝しております。

さて、秋がだんだんと深まっていく中、皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか。学校では運動会が終わっても、元気に体を動かし「運動の秋」を楽しんだり、児童発表会に向けて「音楽の秋」に取り組んだり、思い出の様子を絵に表現する「絵画の秋」、本の世界に没頭する「読書の秋」、自主学習に励む「勉強の秋」など、児童は思い思いの秋を楽しんでいる様子を目にします。自分とはいうと、冬を前にした本能でしょうか。食べるもの食べるものが美味しくて、「食欲の秋」を満喫しています。

## 《 6年生は運動の秋！！ 》



運動会で十分な成果を収めた6年生は、休む暇もなく連日陸上記録会への取組をしていました。よい成績を収めるのも一つの目標ですが、自己記録を伸ばそうと他人に優しく自分に厳しく接し、取り組んでいました。10月23日（木）に、その成果を発揮してきました。当日は肌寒く感じられた一日になってしまいましたが、飯野小学校の顔として、礼儀正しく誇らしい姿で競技に臨んでくれました。近隣の学校の6

年生と比べても立派な姿を見せてくれました。そんな様子を私の代わりに参加してくれた教頭先生から話を伺って、私も誇らしく感じました。結果を見せてもらったところ、入賞した6年生も数多く、入賞できなくても自己記録を更新した6年生がほとんどでした。「努力は実を結ぶ。」ことを実感できたと思います。運動だけでなく何事にも、辛いことも我慢して取り組み、乗り越えて一回りも二回りも成長できる人間になってくれることを期待しています。「実り多き秋」になって本当に良かったです。



## 《 その陰には・・・ 》



これまでに小中一貫についてお知らせしましたが、陸上記録会での6年生の輝かしい成果の裏には、小中一貫教育の取組の影響もあります。白根巨摩中陸上部の中学生が、6年生の練習に協力してくれました。普段は、担任が指導してきていましたが、現役選手である中学生が丁寧に専門的な見地で指導してくれることで、6年生は真剣に耳を傾け、アドバイスを実行できるように前向きに取り組むことができました。小中一貫教育に取り組んでいるからこそその大きな成果です。

## ～ 校外学習真っ盛り！ ～

季節がいいということで、毎年この時期に各学年の校外学習が計画されています。今年も多くの学年が校外学習に出かけています。半日出かける校外学習もあれば、終日出かけるものもあります。学習内容と照らし合わせの中で計画され、学習した内容を検証してきたり、現地で経験してきたりします。今も昔も子供たちは、教室で学習するよりも校外に出て学習することを楽しみにしています。朝、登校指導をしていると、「今日は〇〇に行ってくるんだ



ぁ。」ととびっきりの笑顔で話しかけてくれます。机上の学習ではなく、五感を使って経験することは確実な力として身につけられると考えられます。子供のうちに多くのことを経験し、成功や失敗を積み重ねてよりよい手段を見つけることが生きる力に繋がっていくのだと思います。ご家庭におかれましても、多くの経験を積ませてもらいたいと思います。今ではなればできないことをすることがそ

の子にとって貴重な学びになります。“Chance”＝「今しかできない」“Challenge”＝「やってみる（経験する）」

“Change”＝「成長する（力を身につける）」です。これからも飯野小の子供たちが、力強く自信をもって生き生きと活動する姿が見られることを期待しています。



## 《11月7日は児童発表会です》

このところ毎朝、校内を巡回していると綺麗な歌声が聞こえてきます。知っている曲だと、無意識のうちに一緒に口ずさんでいます。そうです。恒例の児童発表会が近づいてきたのです。合唱にしても器楽演奏にしても、子供たちは一生懸命に練習を積み重ねています。本番まで1週間ほどになりましたが、私も当日の発表が楽しみでなりません。きっと、保護者の皆様も同じ思いでいるのではないのでしょうか。当日、保護者の皆様と一緒に子供たちに大きな拍手を送れることを楽しみにしております。お忙しいと思いますが、ぜひご都合をつけて学校に足をお運びください。子供たちの励みにもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【校長の独り言・・・】（ちょっと、うれしい話です。）

前々号で息子の話をしましたが、先日、息子への近所のおばあさんの来訪がありました。息子は県外での大学生活に戻り不在でしたので、私が対応しました。話の概要は、彼が帰省中、私が不在の時に、家の近くで自転車がパンクして困っていたおばあさんに、「ぼくが直してあげるから、大丈夫だよ。」と言って直してあげたそうです。それほど面識もないのに、大変優しくしてもらって嬉しかったから会いに来たとのことでした。息子が不在であることを伝えると、大変残念がっていました。

いつも仏頂面をしている息子が、自分の知らないところで善行しているなんて思ってもみなかったのも、自分も嬉しくなっていました。それと同時に息子を見直し、すぐに電話してしまいました。子供って、親の知らないところで何をしているかわからないものです。それに気づくためには“会話”が必要だと感じました。何気ない会話でも、言葉に表されなくても伝わってくるものがあります。目から声色から雰囲気から態度から伝わってくるものがあります。それらを総合的に判断して気持ちが読み取れるはずですが、（本校赴任前に、家にいるのにLINEで伝え合っているご家庭があると聞いたことがあります。その子の気持ちを理解してあげることはできていたのかなあと、とても心配になりました。）これからは、嫌な顔をされても私から話しかけていかないと反省です。今回は善行でしたが、周りに迷惑をかけないことをしないことを願っています。

（私の息子だから大丈夫？ 親バカですね。（＾＾）